

グループホームわかば

地域密着型サービス自己評価票 (網掛け部分は外部評価も行う調査項目)

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	12	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の運営理念を作り、勤務に入る前に声に出して、運営理念の実現に取り組んでいる	0	運営理念を玄関に掲示している
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に職員間で理念を共有し合い話し合いを行っている	0	事務所内に掲示し職員全員が確認できるようにしている
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホーム内には理念を明示して家族の方にも、面会時やホームだよりなどを活用して運営理念や活動内容をお話している	0	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、地域の方たちと共に運営理念や活動内容についてはなしあっている 家族会は3ヶ月に1回開催している	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	定期的に乳児院など、近隣の人々が気軽に訪問して頂ける環境を作っている 近隣の商店を利用して行事食や日用品などの購入をはかりお付き合いしている 現在のところ不十分であると考えている	1	運営推進会議で検討していただきながら、具体的なあり方について考えていきたい
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校運動会や公民館の催など地域の活動には積極的に参加している	1	より積極的に交流機会を増やしていきたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営母体が医院であり、高齢者(ご老人方)の地域医療の一翼を担っている また、介護事業は居宅介護支援、通所介護、認知症対応型共同生活介護と複合しており、高齢者に安心感をもたらす役割を総体として持っていると考えているが、具体的な行動へはいたっていない	1	地域の方たちが参加でき共に楽しみ、なおかつ介護について啓発できるような行事(ex.夏祭りとか)を企画していきたい そのときには運営推進会議の地域委員の協力を得ることによって地域行事としての意味付けも行ってほしい
		3	理念を实践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	4	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	公費で事業は成り立っており、事業内容について情報公開する義務をおっていると考えている 職員間で、定期的ミーティングを行い、評価結果に基づき、業務内容等の改善策などを話し合っている	1	常に改善指向で日々の業務を推し進めていきたい
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、運営推進会議を行い、実績や計画を報告し、そこで出されるご意見などをサービス向上に活かしている	1	さまざまにご協議していただけるような資料の準備をこころがけていきたい
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域の民生委員のと交流・情報交換し、サービスの質の向上に取り組んでいる	1	ケアマネ訪問や「わかばたより」の配布を通じて情報交換し交流機会を増やしていきたい
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	定期的に研修に参加し、それらを職員間で共有し合っている また、面会時などを通じて家族の相談にも応じている	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期ミーティング・施設内研修で虐待防止について学びそれらを日々の業務に活かしている	1	利用者対応のあり方などの具体的事例を通じて、虐待の問題について常に考えていきたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	3		
理念に基づき運営	4	理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	他利用者の生活ぶりや設備について実際見ていただき、十分説明を行い、理解、納得をして頂いた上で契約を結んでいる	1	分かりやすいパンフレットなどを作り説明に活用したい
			13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の利用者の要望や苦情については、聴取した職員が連絡ノートや申し送り・ミーティングなどで報告し、対応について全職場的に考えている	1	プラン作成時には、利用者の意見や要望を積極的に取り入れていく
			14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の方の状態については定期的にお知らせしているが、他に「わかばだより」によりホームでの行事等をお知らせしている 金銭管理については、領収書を添付して月ごとに収支報告している 又、熱が出たり、怪我をしたりした際は、その都度連絡をしている	0	3ヶ月に1回家族会を開催している
			15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	委員会・担当を設置して対応している、また処理の流れを掲示して周知している 家族会を開催し報告やご意見を伺う機会としている	1	家族会が和気あいあいとした雰囲気の魅力ある会になるよう支援していきたい
			16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングを定例化し検討している、また必要に応じて運営者に報告・提案している	0	月例職員ミーティングを開催している
			17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	介護計画は、毎日モニタリングし、かつ担当者会議にてアセスメントとして集約し、その時々利用者様にあったケアプランとなるため、適切に付け加えたり修正し、実施後は必ず評価するようにしている 計画の見直しに当たっては主治医のアドバイスを得たり、本氏・家族の要望に基づいて、専門的な意見	0	必要に応じてパート職員を配置している

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 め を の 実 体 制 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は職場の活性化や人材の関係で行われるが、必要最小限にとどめ利用者の方への影響が少ないように配慮している やむを得ぬ離職に当たっては1ヶ月前予告とし、また、そのよう に行動をとるよう職員に指導している	0	利用者の方たちへの影響が少なくすむよう配慮している
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたって、性別・年齢・学歴・経験に左右されていない 複合事業所であり適材適所の配置が可能である スキルアップのため研修機会を提供し、質の向上に配慮している	1	今後も配慮していきたい
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	運営理念を掲示し、始業時に全員で確認し、日常的に注意喚起している またカンファレンスにおいて利用者個々の対応について検討し、利用者の方がよりよく生きられるあり方を考える中で、職員の人権意識の涵養をはかっている	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自己学習・自己研修を奨励しつつ、本人の意欲や事業所の方針に従い、研修機会を提供している	0	研修計画書を作成し実施している
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協力病院(Shp.Nhp.Fnpなど)の居宅介護支援事業所や医療相談室との情報交換等をおこなっている 職員レベルでは個々の職員が他事業所職員と情報交換を行ったり、また行事に出向いたりしているネットワークはいいくといえるほどの意識的・目的的な取り組みはおこなえていない	1	他事業者とのゆるやかな関係を作っていきたい
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	生き活きとした職場環境、気軽に話し合える和気あいあいとした人間関係がストレスを軽減していくため、そのような職場になるよう配慮している それでも生じる事に対して、些細な変化に対応し相談ごとなどを受けている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい 項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	意欲や能力によって、役割の分担を決め、責任意識と自覚がもてるようしている 資格取得を奨励し、結果に基づいて手当を支給を増額し意欲向上につなげている	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	5	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	3	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実際に見学して頂き、受容・傾聴を基本とした対応を心がけ、不安を軽減しながら質問や疑問に分かりやすく答えるよう配慮している	1	まずは話しやすい関係作りを行っている。特に高齢の方は遠慮しやすい。 認知症の理解を深めていきたい
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人、家族も含め入居前の面接、聞き取り、入居後も時間をとって話をよく聞くようにしている。時に入居前後の不安な時期はより多くの時間をとっている	1	担当者ケアマネが同席し、対応についてよく話し合う 相談援助 技術を深めていきたい
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が必要と言われる事と、本当に必要な支援の見極めをつける	1	本人と家族が、納得され喜ばれるような支援の仕方について話し合う 介護保険 制度についての理解を深めていきたい
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	これまでの環境や、履歴等の聞き取りの中から、本人にとってどうゆう方法が一番なのか担当者、ケアマネ、他のスタッフと共に考え行動する 部屋には写真・家具・飾りなど馴染みのものを持ってきていただきつづける安心ある部屋作りを支援している	0	すでにホームで暮らしておられる方々とも、よりよい関係を持って頂くよう努力する。友人が出来る事によって、よりホームに馴染まれるのではないかと考えている
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	2	
係り 継続 へ の 支 援	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームに来られる前の話を伺ったり、若い頃の経験を伺う中でスタッフも学ぶ事が多い。一緒に家事をしたり歌を歌ったりと家族的な関係を持ちたい	1	自分をなかなか表現出来ない利用者とは、一対一で、ゆっくり過ごす時間をとりたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の訴えには、積極的に耳をかたむけ、必要とあれば、本人、スタッフ、家族と話し合う機会を設ける	0	ケアマネの専門的な助言アドバイスを 得ている家族会を開催して、利用者の方の生活ぶりや思いを理解していただくための一助としている
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の入居前の生活を良く聞く事により、家族との関係が、どうだったかを理解する 利用される方の要望や希望を、本氏に代わって伝えることともある 「わかばたより」を定期的に発行し、ホーム内の生活ぶりがよく分かるようにしている	0	ケアマネの専門的な助言アドバイスしている家族会を開催して、利用者の方の生活ぶりや思いを理解していただくための一助としている
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人の方が面会に来られた場合は、和室や居室でゆっくりお話して頂く来客者には心のこもったおもてなしをするよう配慮している	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の話しの橋渡し役になれる様に努める。皆様の共有する話題作りをする	1	共通の話題作りの為にも、ゲームや歌など楽しい時間をたくさん共有していきたい
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された家族より、年賀状や季節の便りが届く、ホームからも電話等で連絡をとっている	0	入院等の場合は、スタッフがお見舞いに定期的に行っている
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	9	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式や他のアセスメントシートを活用し、本人が何を望み、何をしたいかをまず考えるようにしている	1	本人の望みに添うような形で、よりよい生活をして頂けるよう常に努力していきたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の人生歴、家族構成、趣味等を充実させ利用者様が何を望んでいるのかを理解して、アセスメントを行っている	1	本人の望みに添うような形で、よりよい生活をして頂けるよう常に努力していきたい
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員間で情報を日常的に交換（連絡ノート・申し送りなどで）し、また共有するようにしている一人一人のプライバシーを見極め認知が進んでも礼節ある態度で接して、本人の視点に立ったさりげない介護を心がけている	1	本人の望みに添うような形で、よりよい生活をして頂けるよう常に努力していきたい
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38～40・外部 18～19)	自己評価3項目・外部評価2項目	2		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議にて長期、短期事に目標を計画し、サービス内容にそって、本氏・家族に説明・同意をえてから、介護計画を策定している	0	職員個々が2人程度を担当し、日々の経過について責任を持ってモニタリングすると共に、評価・計画原案を作成するようにしている
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、毎日モニタリングし、かつ担当者会議にてアセスメントとして集約し、その時々利用者様にあったケアプランとなるため、適切に付け加えたり修正し、実施後は必ず評価するようにしている 計画の見直しに当たっては主治医のアドバイスを得たり、本氏・家族の要望に基づいて、専門的な意見	1	モニタリングを実施し、担当者会議を開催して評価している
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録ファイルがあり、利用者の方の状態変化を継続的に見る事が出来る。又、発せられた言葉等をそのまま記録して、生き生きした状態を記録している 日々モニタリングを記入して、計画の実行状況をチェックできるようにしている	1	記録記入のあり方について理解を深めていきたい
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	屋外散歩や買い物が必要に応じて随時おこなっている、ドライブやお出かけ外食もおこなっている	1	より充実させていきたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	公的な機関に働きかけているが、拡がりがすくない	1	小学校運動会参加、観覧等、公的な機関への参加のみならず、運営推進会議にも協力を得て、地元商店街、近所の個人の方々にも働きかけて理解を拡げていく インフォーマルな社会資源の開拓をおこなっていききたい
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	居宅療養管理指導にて、歯科往診・口腔ケアを週1回おこなっている 馴染の方が隣接するデイサービスに来られているときは会いにいけるよう配慮している	0	居宅療養管理指導事業所よりアドバイスや情報提供を受けている
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会の二ヶ月に一度の会議に参加して頂き、家族会では具体的意見を活発に出して頂き、ケアの向上の活かしている	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診を行いながら小さな事でも、主治医に相談し医療を受けている	0	運営母体が医院であり、適切に必要なに応じて気軽に対応できている
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	急変時の協力病院への受診入院、又、認知症専門病院への入院治療を受けられる様支援している	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接する医院の医師や看護師に医療的なことを相談できている 施設内での医療的ケアのあり方についてアドバイスをすることも多い	0	運営母体の看護師からマニュアル作成時や医療的な対応のあり方等について、アドバイスをえている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力病院のS病院、外科のF病院、リハビリ施設のあるN病院と連携を図っている。病院のソーシャルワーカーと情報交換し、退院後のケアの支援についても話し合いを行っている	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	急変時は、必ず主治医の指示を仰ぎ家族への連絡は密に行い、各指定の協力病院に対応して頂く	1	重度化対策にかかる諸問題を検討し「出来ること出来ないこと」の整備をはかっていく
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	各指定の病院との連携を密にし、急変時には受け入れてもらっている。又、退院時も入院時の状況等情報を交換しホームでの生活に活かしている	1	重度化対策にかかる諸問題を検討し「出来ること出来ないこと」の整備をはかっていく
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	関係者間で事前に情報交換を行いスムーズに離陸・着陸できるよう配慮している	0	
	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価3 8項目・外部評価1 1項目	15
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1		その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)	自己評価3 0項目・外部評価9 項目	13	
	1	(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3 項目・外部評価2 項目	3	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人間としての誇りやプライバシーを見極め、認知が進んでも礼節ある態度で接して本人の視点に立ったさりげない介護を心がけている個人情報については、入所時の個人情報使用同意書に基づいて、必要最小限の提供にとどめている、記録に当たっては事実を主観や不必要な情報を交えずに記入するよう配慮している	1	記録の意味や記入方法について検討していきたい
	53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	独自の表現で表される利用者される方の希望や感性を、受容的に受け止め、自己実現に向けて支援している	1	今後も継続して、意思決定の過程を大切にしていきたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースや希望に沿って、支援していくことを基本としている 9人の思いをいかに実現するかは絶えざる課題であり、職員間で日々話し合っている	1	日々の業務に活かせるアセスメントの充実を図っていきたい
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理美容にて散髪して頂き、洋服も季節に応じてスタッフにさりげなく支援してもらいながら選んでいる。又、近くの美容院を利用させている利用者の方もいらっしゃる 化粧品を毎日されオシャレをされている方もある 風呂上りには爪切りを支援している	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	トロミ、おにぎりなど食べやすく飲み込みやすい調理方法を取り入れ、又利用者様ともやしの根切り、ジャガイモの皮むきなど、一緒におこなったり、食器拭きなども一緒に行う	0	イベント時など、特別食として利用者の方の大好きな散らし寿司を作って食べて頂いたりしている 近隣の業者からの出前も活用し日ごろ食べられないものを摂れる機会も作っている
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	スタッフ買い物時、利用者の方に尋ねて、おやつなどの買い物支援を行う	0	週一回、移動販売車が来ていたが、持病持ちの利用者様がおられる為、必要な方だけ、「わかば」に行き、買うようにしている
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の声かけを行い、ご自分で頻りにトイレに行かれるようになった利用者の方もおられるが、タイミングをはずし汚染なされていることもある	1	個々の排泄リズムを十分に把握し、適時声掛けを行っていきたい
59 外部評価 26	入浴を楽しむことのできる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	おおまかな入浴日は決めているが、利用者の方の希望や体調を考慮しておこなっている 日曜日以外は入浴できる体制をとり、希望に応じていつでも利用していただけるようにしている 入浴の順番も声かけして、ご希望に沿い日替わりで対応している	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者様一人一人の疲労や緊張の度合いに応じて和室、居室またソファで休んで頂けるような環境作りに配慮している	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食前の盛り付け、食後の食器拭き、洗濯物たたみ、イベント時の挨拶。その場面場面で入居者様の役割、出番を整え表現している	1	天候の良い日の散歩など外の空気にふれられる機会を多くしたい
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理はスタッフで行い、移動販売時、買い物レクリエーション時は各自でお金を支払って頂きお金を使える事の喜びを味わってもらえるよう配慮している	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	友人の送迎にて習い事に行かれ、外出を楽しまれる方もある 1ヶ所に落ち着けず戸外へ出ることを希望される方には、職員付き添いで散歩など行えるよう配慮している	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月一回外出を実行し、家族の方にも参加の呼びかけを行い出席してもらっている。又、季節ごとの野外行事も行っている	0	家族面会時に利用者の方と一緒に出かけられている
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	数名の方が自宅に電話をかけて、家族との会話を楽しんでおられる。事務所で電話される場合は職員が気にならないよう配慮している手紙の宛名書きをおこなえない利用者の方には支援するよう配慮している	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問された家族の方には居室での談話や、リビングや和室で他の方と一緒に会話を楽しんで頂いている、場合によっては職員も加わることもある職員には挨拶を徹底し、お茶の接待など心のこもったおもてなしを心がけている	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	4	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルにて職員は認識し身体拘束によって、入居者様が受ける身体的精神的苦痛について理解し拘束のないケアをめざしている	1	全職員が日常的に「拘束」を意識化し、迷ったときは基準に立ち返って再度点検できるよう姿勢が持てるようにしていきたい	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間8時以降は玄関に鍵をかけるが、外に出られない入居者様がおられたら鍵を開け見守りをする。日中は鍵をかけておらず扉が開くと音楽が鳴るシステムになっているので職員が対応し一緒にしていくなど安全に配慮している	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、見守りが不十分にならない様、職員同士が声をかけあい見守りし入居者様の様子が分かるようにしている 夜間は随時見守りを徹底して安全に配慮している	0	安全確保のため、申し送りでは心身の状況について、的確に情報伝達している	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤・薬剤等の保管場所に鍵をかけ厳重に保管し刃物等は夜間事務所で保管し安全に努めている 持ち物については本氏の気持ちや家族の方と相談しながら決めている	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒の恐れのある方には移動時、常に側で見守りや介助を行い入居者様より目を離さず気くばり、目くばりを心がけて事故防止に取り組んでいる センサーやコール装置・鈴なども活用している	1	さりげない見守りを常に徹底していきたい			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時や連絡などのマニュアルを作成し職員は理解している。又、研修にも参加している	1	定期的な訓練を行って行きたい
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導にて避難訓練を行い職員全員参加している	1	地域の人々の協力を得られるよう、働きかけていきたい 地域防災体制との連携を検討していきたい
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族の方の訪問時などに職員と一緒に対応策を話し合い検討している さりげない見守りに配慮している 危険の認識が乏しい場合にはセンサー活用している利用者の方もいる	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	4	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックや食事の様子、排泄の回数、生活全てを観察し急変事は主治医に受診して未然に防いでいる 母体が医院であり同一敷地内にあることから、気軽に日常的相談できている	1	ちょっとした変化でも職員同士、申し送りをし様子観察し記録に残していく
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	名前、日付を毎回確認し確実に服用して頂き症状の変化の確認を行っている 受診後は付添者が「受診ノート」に記入し、申し送り時に報告し、職員間に周知徹底している また薬情についてはファイル化し職員がいつでも閲覧できるようにしている	1	服薬前に薬包が本氏のもであることを確実に点検して、誤薬のないようにしていく、また、服薬確認をおこない飲みこぼしのないよう配慮していく
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の排泄の確認をし、一人一人の排泄の状態を把握している 必要な水分の摂取を働きかけている レクリエーションなどでは、軽い体操などもおこなっている 生活の中で過度の介助はおこなわず、自ら行動していただくようにしている	0	それでも便秘がちな利用者の方には、主治医に相談し薬剤処方を行っていただいている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、入床前、うがいや入れ歯の洗浄を実行している。週一回、歯科訪問により口腔ケアをして頂いている	1	毎食後の口腔ケアの実施を確実に行っていきたい	
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日分のカロリー計算された献立を作り、食事の摂取量や水分量は記録表に記入している。水分補給は食事、お茶の時間以外でも声かけし水分を取って頂くようにしている、また自由に飲めるようテーブルにポットを置き、定時的に中身を入れ替えている	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	入居者様全員がインフルエンザ等の予防注射を摂取している 玄関入り口に洗面台を設け、入館時に、うがいや手洗いをを行うよう支援している、また、注意書きを掲示をお願いしているが、励行していただけない方もある	1	来客の方々に入室される前に、うがい、手洗いの実施して頂くよう、声掛けしていきたい	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は、毎日使用する分の仕入れをし新鮮な物を使用するよう、心がけている まな板やふきん等は毎日消毒し清潔を保つよう努めている	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	2	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花等を植え明るい雰囲気になっている	0		
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、トイレ食堂には花を生け廊下の壁には入居者様の写真や草花の写真を飾り、季節感を出しています	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室と一緒に洗濯物をたたまれたり、ソファで歌、おしゃべりをされておられる	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆様それぞれに使いなれた物を持込まれている 写真・人形・家具・仏壇など	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	利用者の方に確認しながら温度調整を行っている。又、換気にも気配りを行っている	1	定期的に冷暖房のフィルター掃除をする 空調はなるべく自然環境で行っている	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所への手すりの配置がありトイレ、浴室も使いやすく工夫されている ユニバーサル設計になっている	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	錯覚や混乱のないよう、居室入り口には表札や好みの装飾をした環境作りに気を配っている 風呂・トイレ・洗面台などポイントポイントに文字やイラストを使用して案内したり、注意を呼びかけたりしている	0		
		89	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	園芸、季節の花を植えて皆様に楽しんで頂いている 隣接する小学校の桜が満開になる春は部屋やリビングから楽しまれている、また子供たちのにぎやかな声が活気をあたえてくれている 遠方には山並みが見えるなど環境的には閑静である	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。